

2006年3月期中間決算説明会

Brand Vision

赤ちゃんを育てることが、
楽しく幸せだと思える社会をつくる。

コンビ株式会社
代表取締役社長

松浦 弘昌

2005年11月16日

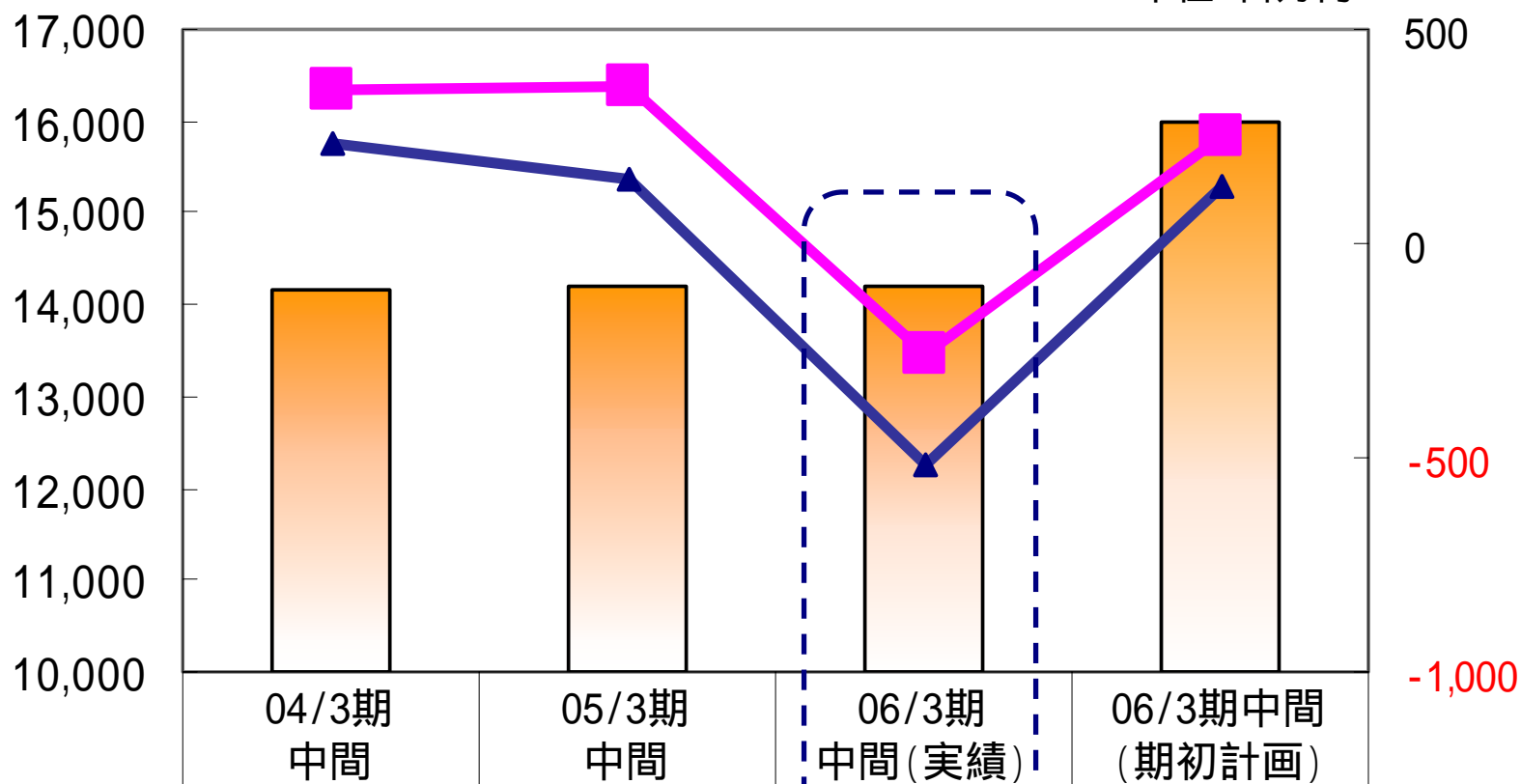
Agenda

- I. 2006年3月期 中間実績概要
- II. 2006年3月期 中間期 レビュー
- III. 2006年3月期 下半期の取組み
- IV. 2006年3月期 通期見通し

2006年3月期 中間実績概要

2006年3月期 中間業績概要

単位: 百万円



売上高	14,163	14,186	14,188	16,000
経常利益	361	363	-255	250
当期純利益	236	154	-516	130

キャッシュフロー

(連結)

(単位:百万円)

	04/9期	05/9期	増減額
営業活動による キャッシュフロー	1,013	284	-728
投資活動による キャッシュフロー	-573	-135	437
財務活動による キャッシュフロー	365	-227	-593
現金及び現金同等物 による換算差額	5	81	75
現金及び現金同等物 の増減額	812	3	-809
現金及び現金同等物の 期首残高	3,480	4,730	1,250
現金及び現金同等物の 中間期末残高	4,292	4,733	441

キャッシュフロー増減の主要因

- 営業活動:
中間純利益の減少 約670百万円
- 投資活動:
定期預金の払戻 + 約440百万円
- 財務活動:
短期借入による調達額の減少
約590百万円

貸借対照表

(連結)

(単位:百万円)

	05/3月期	05/9月期	増減額
現金及び預金	5,113	4,950	162
売上債権	8,008	7,417	591
有価証券	1,058	964	94
たな卸資産	4,818	5,236	417
その他	1,474	1,130	345
流動資産合計	20,471	19,696	775
有形固定資産	5,859	5,834	25
無形固定資産	665	651	14
投資その他の資産	1,521	1,616	95
固定資産合計	8,046	8,101	55
資産合計	28,517	27,797	719

買掛債務	4,160	3,800	360
短期借入金	1,231	1,256	26
その他流動負債	2,337	2,409	72
流動負債合計	7,727	7,465	262
固定負債合計	3,985	3,995	10
負債合計	11,712	11,460	251
少数株主持分	28	51	23
資本合計	16,777	16,286	491
負債・資本合計	28,517	27,797	719

借入金 + 社債	4,230	4,256	26
-----------------	--------------	--------------	-----------

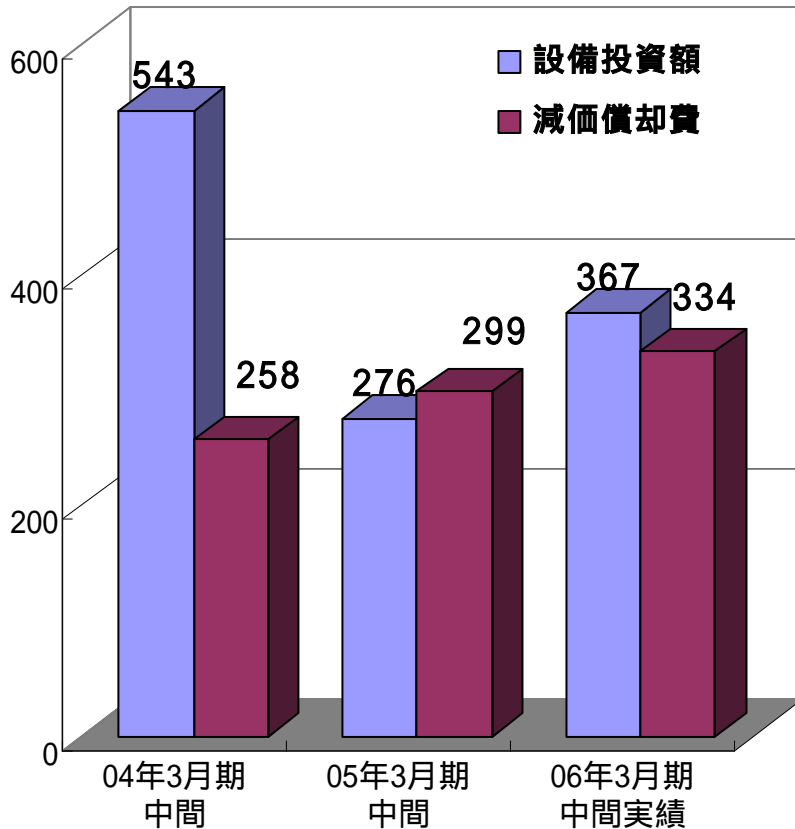
増減の主要因

- 売上債権：
前期第4四半期と当期第2四半期の売上高格差の影響。
* 第4四半期に売上高集中傾向あり。
- 棚卸資産：
売上計画未達による在庫増加。
- 買掛債務：
前期第4四半期と当期第2四半期の仕入額格差に影響。
* 第4四半期売上高集中傾向による。
- 資本合計：
当中間期純損失の影響。

設備投資、減価償却費、研究開発費

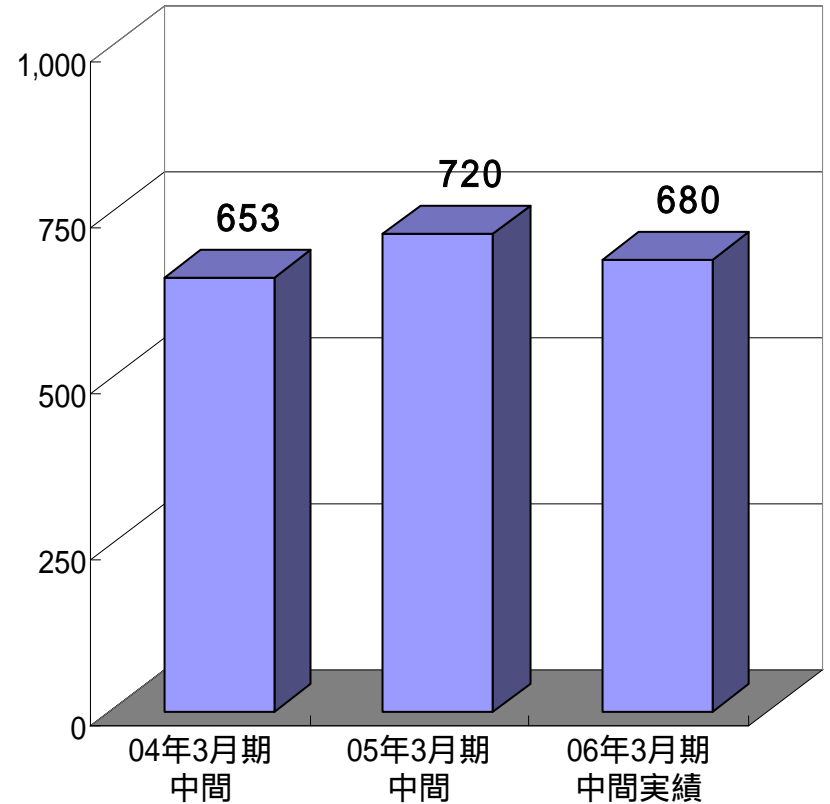
【設備投資・減価償却費】

単位:百万円



【研究開発費】

単位:百万円



.2006年3月期 中間期 レビュー

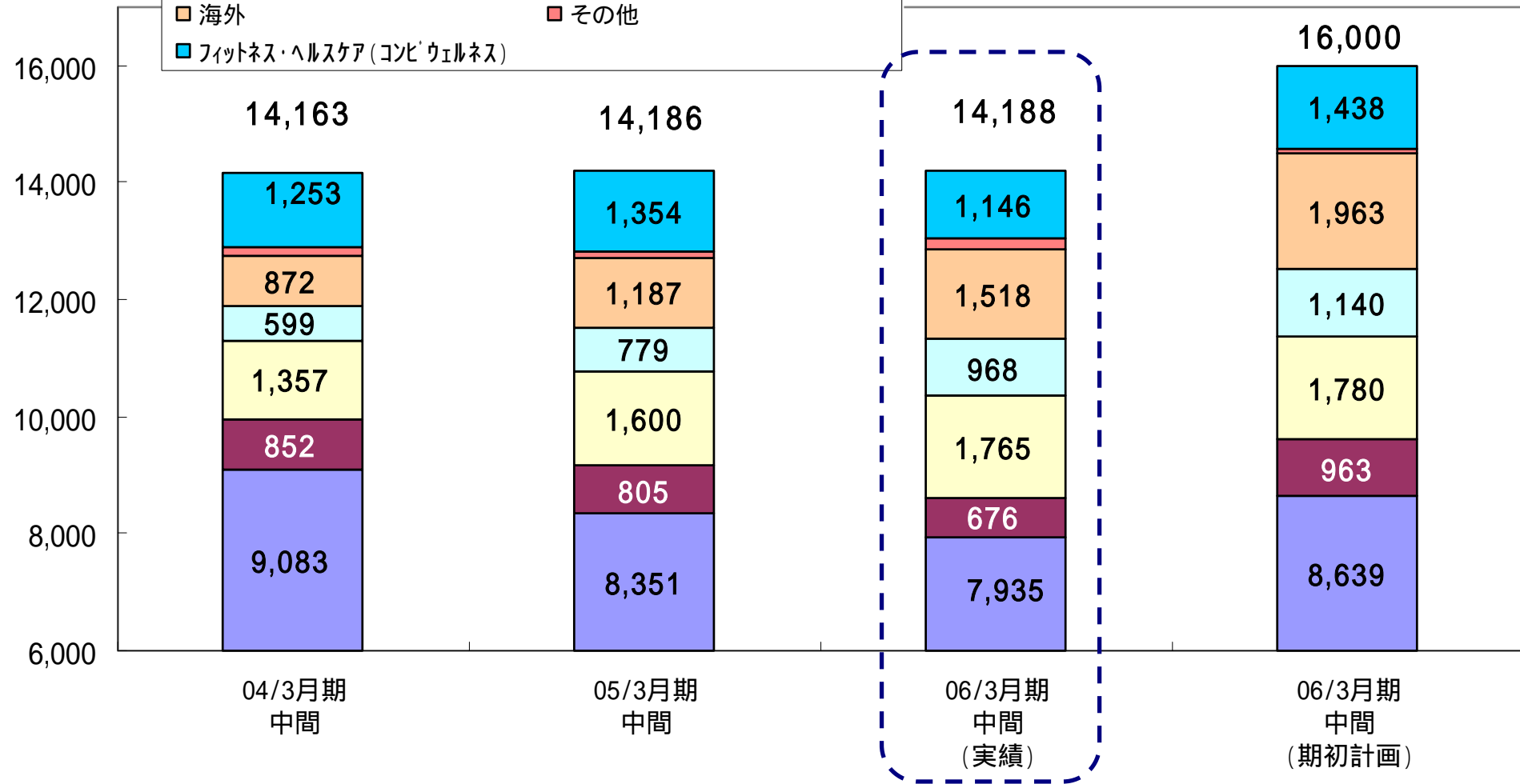
2006年3月期 中間期レビュー概要

- 売上高計画比について
 - ・全事業領域で未達成(連結計画比89%)
- 売上高前年比:不振の主要因
 - ・国内チャイルドシート(前年同期比80%)
 - ・玩具の不振(前年同期比84%)
 - ・シルバーカー自主回収を含むウェルネス事業の不振(前年同期比85%)
- 売上高前年比:押上げ要素
 - ・海外事業の売上増(前年同期比128%)
 - ・アパレル事業売上増(前年同期比110%)
 - ・ベビーカー事業の復調(前年同期比105%)

事業別売上高の状況(連結・中間期)

(百万円)

- ベビー用品
- アパレル
- 海外
- フィットネス・ヘルスケア(コンビウェルネス)
- 玩具
- 外出環境支援・保育(コンビウイズ)
- その他



事業別レビュー

チャイルドシート(国内販売)

【市場環境】

- 主要取引先の在庫圧縮施策、低価格施策の打ち出し
- 市場規模の推移(当社推計)
2000年4月の法制化から5年経過。使用期間の一巡(義務対象は6歳まで)とリユース加速により市場規模縮小。市場規模:05年3月末:80万台 05年度想定:75万台(当社推計)

- 競合
低価格商材の投入。

【自社の施策と結果】

- 07年の基準改訂を見越した新製品の投入
時期尚早の感あり。
- 既存アイテム落ち込み
幼児用(0歳~4歳)チャイルドシート(ゼウスターン)、ロングユース製品(プリムロング)



ブオンキッズEG¥52,000(税別)
国内初のリクライニング付きジュニアシート(1~11歳頃)
05年3月末発売



ブオンジュニアEG¥23,000(税別)
背もたれ付きで3才~11才頃まで使えるジュニアシート。



ゼウスターンEG¥69,800(税別)
乗せ降ろしが簡単な360°回転のターンシート(新生児~4才頃)



プリムロングEG¥58,000(税別)
1台で着用義務期間年齢をカバー(新生児~7歳頃)

事業別レビュー

玩具

【市場環境】

- 知育・ベビー玩具市場が玩具市場全体の低迷を受け停滞。

【自社の施策と状況】

- 積み木シリーズの販売不振。木製玩具の発売延期

くっつき積み木
シリーズ



ウェルネス事業(フィットネス、ヘルスケア)

➤ フィットネスビジネス

- ・競合: 大手民間フィットネスチェーンが機器を自前調達(自社開発等)
- ・流通: 新設物件の減少、

介護保険法施行前の様子見により、施設向け製品導入見送りの傾向

➤ ヘルスケア(介護用品等)ビジネス

- ・シルバーカー新製品(スル-ソ)の自主回収
- ・介護保険補助金抑制の動き

高価格ポータブルトイレがケアマネージャーの推奨を受け難くなる。

中価格帯製品の対応遅れ(下期には中価格帯上市)

事業別レビュー

ベビーカー (国内販売)

【市場環境】

- 新A型の登場による市場構造の変化も落ち着きを見せる
市場規模: 04年3月期 71万台 05年3月現在 約66万台 05年9月末現在 約68.6万台

【自社の施策と状況】

- 新製品の投入によりほぼ計画どおり
* 新A型新製品投入 5機種11アイテム投入 (例年は2~3機種が平均的)

ココットコンパクトW EG
定価: ¥72,000 (税抜き)



ココットコンパクトW EG
定価: ¥68,000 (税抜き)

ココットコンパクトW EG
定価: ¥62,000 (税抜き)



ココットコンパクトW EG
定価: ¥57,000 (税抜き)

ココットコンパクトミニEG
定価: ¥50,000 (税抜き)



事業別レビュー

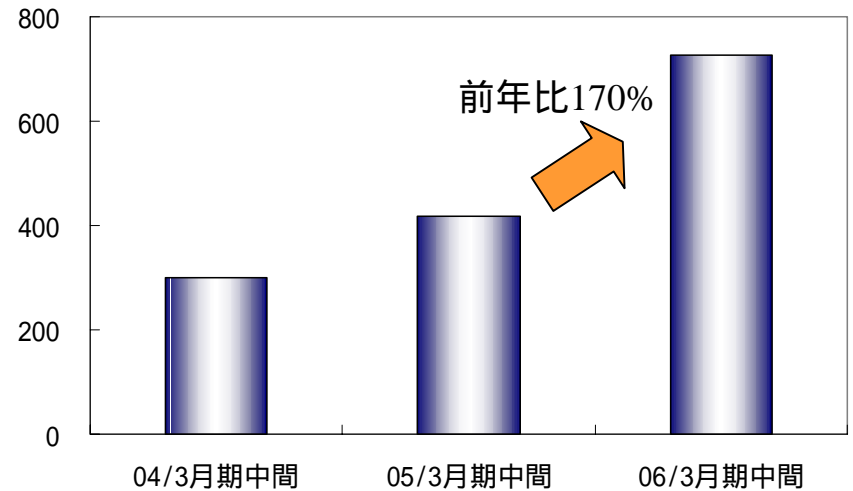
米国(北米)市場

- ▶ 前年同期比約170%の売上高大幅増
*マーチャンダイジングの立て直しが奏功

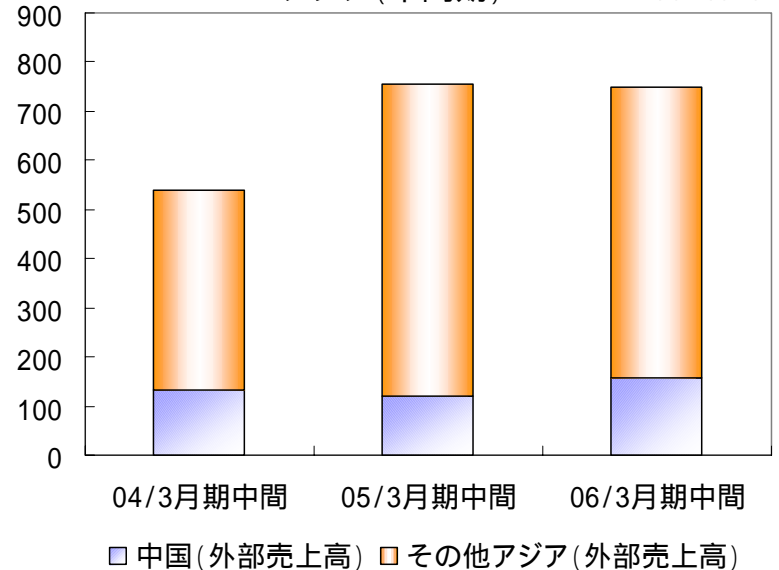
アジア市場

- ▶ 中国市場の販売体制のリストラ継続

北米(中間期) 単位:百万円



アジア(中間期) 単位:百万円



その他事業、他

【アパレル事業】

- 製品の機能性・デザイン性の高評価と、通販のみというダイレクトセールスのチャネル選択がマッチし、継続して売上高を伸ばす。
- 新ブランド立ち上げ(04年12月)
タレント千秋をデザイナーにした新ブランド『リボンカスケット』 テレビ、雑誌等の取扱多数。
Combi mini ブランドの次なる柱として育成

【保育事業】

- ベビー用品総合メーカーとして社会的な要請に応え、ブランド価値を向上させるべく事業を継続し、且つ一層の利益体質強化も図る。
- 保育園数
04年3月末 7園 05年3月末11園(白金台、金沢八景等) 05年9月末 12園

【主要な特別損失】

- 南浦和テクノセンター水害、シルバーカー自主回収費用、減損損失(保育園1園)

・ 下半期の取組み

2006年3月期 下期以降の対策

全社での取組み

- 海外事業、アパレル事業をグループの成長ドライバーと位置付ける。
- 国内事業は安定収益獲得を目指す。

市場別の取組み

- 国内市場
新製品の継続投入。
- 海外市場
収益貢献のステージへ移行する準備を着実に実行する。

事業別施策(下半期)

チャイルドシート(国内販売)

- 現行市場のニーズにあった新製品の上市:2機種5アイテム。



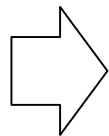
ゼウスターEG¥69,800(税別)
「だっこシート」プロモーションと連動して
2機種5アイテム投入。

- 『だっこ型』キャンペーンの実施(TVCM、雑誌等)
 - ・CM:10月末~11月初旬に全国10放送局、15秒CM
 - ・その他:育児雑誌広告、当社ホームページ



呼称変更と商標登録により『だっこ型』を市場へ浸透。

『イス型』
チャイルドシート



『だっこ型』
チャイルドシート



* 世界で使用されているチャイルドシートの90%はだっこ型です。
コンビは新生児からのチャイルドシートに『だっこ型』を強く推奨しています。

『だっこ型』:『だっこ型』はコンビの登録商標です。

事業別施策(下半期)

ベビーカー(国内販売)

➤新製品の継続投入

- ・2005年12月から翌1月にかけて新製品の投入(2機種4アイテム)
- ・上半期新製品「ココットコンパクト」シリーズの『超軽量・コンパクト』というコンセプトをさらに追求

➤全国で新製品特別内見会の実施

東京内見会



リッコ展示ブース



リッコW EG
¥68,000(税別)



『超軽量&コンパクト』
をコンセプトにプロモーション実施

事業別施策(下半期)

玩具事業

- ▶ 新製品(新ジャンル)の遅延解消
 - ・木製玩具(ファブーナ・シリーズ)
 - ・インテリアとの調和を追及したハッピーパームシリーズ(05年度グッドデザイン賞受賞)

木製玩具
ファブーナ・
押し車
¥12,000(税別)



ハッピーパーム
メリー・ジム
¥12,800(税別)



ウェルネス事業(フィットネス、ヘルスケア)

- ▶ 介護予防製品の拡大
モタサイズ新シリーズの導入
- ▶ 中価格帯ポータブルトイレのアイテム拡張
新製品:『優福CP328』定価32,800円(税別)を10月に発売。
(介護保険補助金抑制による高価格商材伸び悩みに対応)
- ▶ シルバーカーの信頼回復及び再拡売

モタサイズ MC1
¥2,000,000(税別)



優福トイレ
チェアCP328
¥32,800(税別)



キャリアスルーンHi
¥25,800(税別)

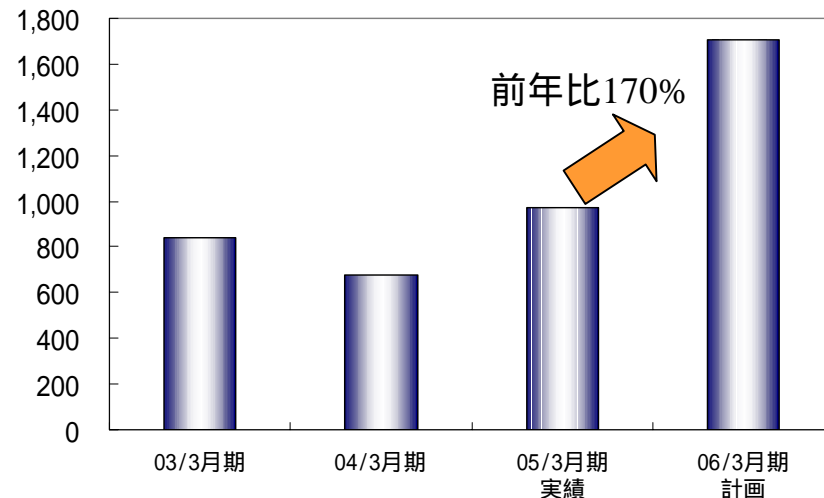


海外ベビー (米国・アジア向けベビー用品)

北米(通期) 単位: 百万円

米国(北米)市場

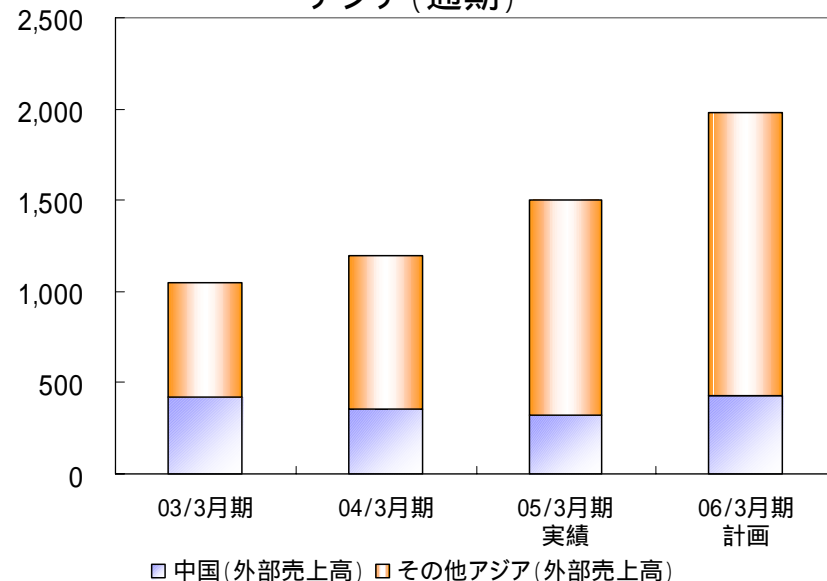
- 通期でも上半期と同等の伸びを目指す。
06年3月期上半期は前年比約170%
- 販売チャネルの再整備 専門店ルート、
ベビーザラス等の強化継続



アジア市場

- 中国市場は利益を重視し、新体制のもと
沿海部富裕層中心に展開
- 東南アジア市場収益貢献を維持しつつ
新カテゴリーの製品を投入する。

アジア(通期) 単位: 百万円



その他事業(下半期)

【アパレル事業】

- 現在の戦略を継続して目標達成を目指す。
 - ・対象年齢の拡大や製品群の拡張なども検討。



【保育事業】

- 質の高い保育サービスの提供を最優先。
- 新規増園は、サービスの質と収益性を考慮して慎重に進める。

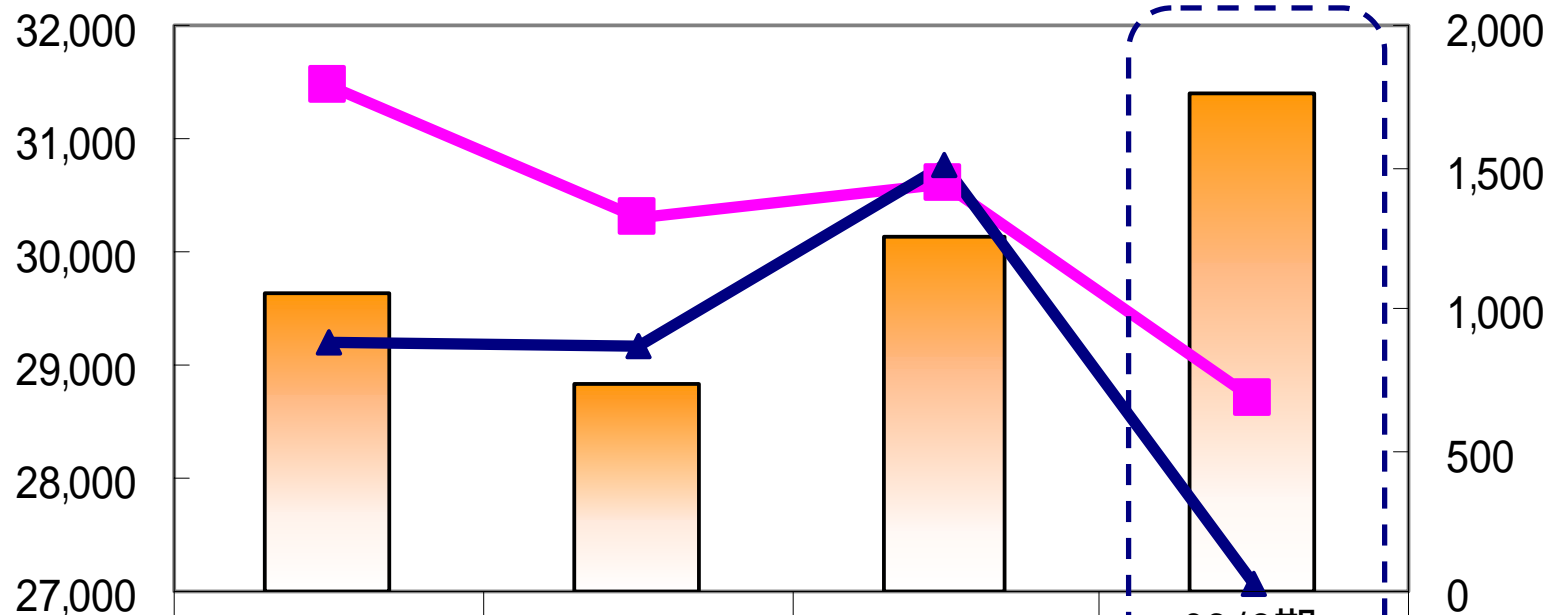
Combi PLAZA






・ 2006年3月期 通期見通し

2006年3月期 通期見通し

単位: 百万円



 売上高	29,643	28,824	30,149	31,400
 経常利益	1,785	1,318	1,436	680
 当期純利益	877	861	1,513	30

03/3期

04/3期

05/3期

06/3期
計画

29,643

28,824

30,149

31,400

1,785

1,318

1,436

680

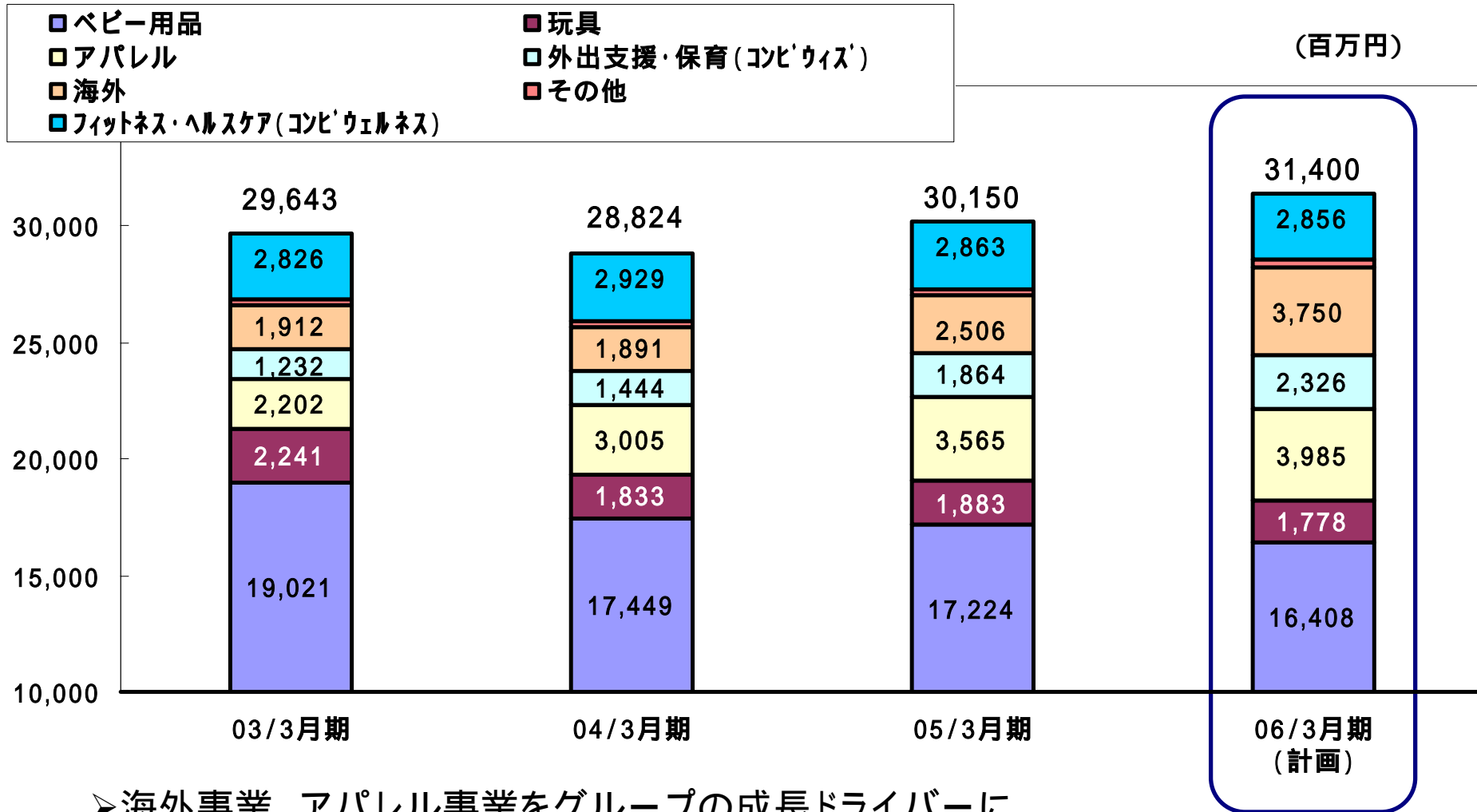
877

861

1,513

30

事業別売上高見通し(連結・通期)

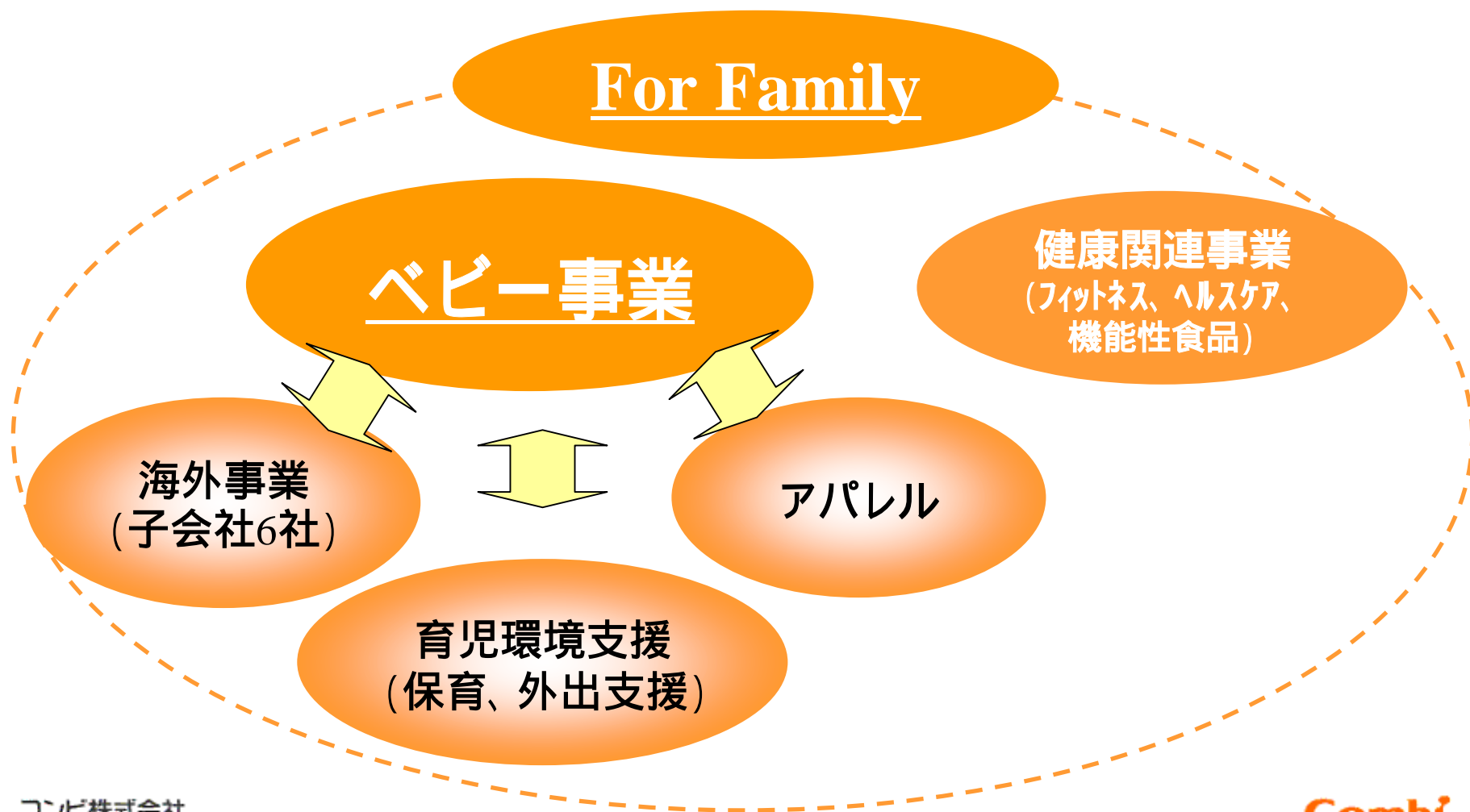


- 海外事業、アパレル事業をグループの成長ドライバーに。
- 国内事業は安定収益獲得を目指す。

今後の展開

今後の方針

ファミリーを対象とした事業を行い
ベビー事業をコアにして選択と集中を行っていく。



ご静聴ありがとうございました。

Combi

<当社問合せ窓口>

コンビ株式会社 経営企画室 IR担当 阿部 知泰

TEL : 03-5828-7607 E-Mail : abet@combi.co.jp

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が、様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。